

市立幼稚園の認定こども園化に伴う定員の見直し(案)について

1 見直す理由等について

(1) 見直し理由

①幼稚園型認定こども園化する幼稚園(5園/茨木、福井、西、太田、水尾)

幼稚園から保育所機能を備えた幼稚園型認定こども園に移行し、3歳児保育及び保育が必要な2号認定子どもの受け入れを行なうことから、必要な定員の見直しを行ないます。

(主な効果)・待機児童解消施策…0~2歳児対象施設である小規模保育事業所等の卒園児(3歳児)の受皿

②既存のまま運営する幼稚園(7園/北、天王、玉島、沢池、東雲、郡、庄栄(※北辰除く))

幼稚園の定員設定に係る課題等を解消し、幼児教育・保育の質の向上に資するため、利用実態に即した定員に見直します。

(課題等)・利用実態と乖離した定員設定/保有保育室が定員設定されており、活用に制限がかかっている。

(主な効果)・新たに確保する余裕教室を有効的に活用できる。

(2) 実施時期

○平成29年4月1日

2 認定こども園の定員設定について

(1) 運営クラス

○各歳児 3歳児:25人(1号:17人 2号:8人)

4・5歳児:35人(1号:27人 2号:8人)

・各歳児1クラス運営を基本とします。

・ただし、西及び水尾幼稚園は幼稚園として利用する1号認定子どものニーズが、これまでどおり見込まれ、施設的にも受け入れが可能なことから、4・5歳児は複数クラス運営とします。

(2) 1号及び2号認定子どもの受入対応

○1号認定子ども(幼稚園部分のみ利用)

・定員を超える場合は、抽選により対応します。

○2号認定子ども(幼稚園と保育所機能部分の利用)

・平成29年度の募集は3・4歳児のみとし、5歳児については、進級する1号認定子どもの受入枠を確保する必要があることから、平成30年度からの募集とします。

3 定員等について

各年5月1日現在

①歳児	平成27年度				平成28年度(見込み)				平成29年度(見込み)			
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計
②定員(北辰除く)		770	1,015	1,785		770	1,015	1,785	125	630	665	1,420
③園児数	1号	506	551	1,057		434	529	963	85	421	458	964
	2号								40	40	0	80
	計	506	551	1,057		434	529	963	125	461	458	1,044
④定員充足率		66%	54%	59%		56%	52%	54%	100%	73%	69%	74%
⑤保有教室	52				52				55			
⑥使用教室	41				38				47			
⑦差(⑤-⑥)	11				14				8			